

公益信託世田谷まちづくりファンド

第23回助成事業 審査講評

まちづくり活動部門

【3回目応募グループ】

<1 「品川用水」の復活研究会>

- ・近世以前から続く生態系の痕跡を浮かび上がらせ、それを区民の身近なものにすることは意義があり、ファンドの設定趣旨にも適合するものと思われます。すでに多数の資料を収集されているようですので、印刷出版のための予算の確保が簡単でない場合は、webを活用してできるだけ早く品川用水のファンの方々に成果を提供して差し上げてはいかがでしょうか。
- ・土木技術的な視点からの造形特性についてはもちろんですが、かつての世田谷の暮らしや子どもたちの遊びにも、品川用水が度々登場してきます。こうした口述筆記の物語も記録されるとしたら素晴らしいです。水が流れていた頃を知る人が少なくなってきた現在、面影マップをきっかけにして記憶を集める人たちとの連携も期待したいです。
- ・貴重な資料ですから、ぜひ公開してほしいと思います。印刷物ではもったいないので、ぜひオンライン公開を検討していただければと思います。
- ・住民の記憶から消えようとしている品川用水の姿を後世に伝える「面影発見マップ」は、地域の風景づくりにおいて重要な手がかりとなる貴重な資料になると思います。完成されたら、できるだけ多くの地域の風景づくりや郷土史に関心のある方にその情報が届き、活動の中に情報が引き継がれていくような活動につなげていただくことを期待しています。
- ・江戸中期に創られた品川用水の故事来歴を調べ、世田谷の歴史的遺産を探る活動は、郷土を慈しむ心情を育む点で教育的にも意義深いものである。また、「品川用水面影マップ」作成の過程で多くの区民との交流や歴史的資料との出会いは、世田谷の史実の解明に寄与するばかりか、区民の絆の回復にも通じることで評価できる。より多くの区民と関わりを深めながらマップが完成することを期待する。

- ・品川用水の面影の収集について、2年間の御尽力があったとのこと、大変お疲れ様でした。活動の成果を本当の保全や文化の継承につなげていくためには、一層の区民の参加が欠かせないと思います。その意味で、昨年度の事業で1回しかワークショップが開催されなかったことも残念です。より広がりのある取り組みとなるよう、会のお仲間の方々以外の参加者拡大に努めて頂きたいと思います。
- ・失われた景観を資料にまとめるのは大変なご努力がいます。地域の歴史を記録する事業として教育委員会などに協力をもとめ、活動の参加者をふやす工夫をされてみてはいかがでしょうか。
- ・小冊子の完成を楽しみにしています。小冊子の完成で終わらず、それを活用して、地域の魅力的なまちづくりを進めていくための具体的な計画と活動の継続を期待します。

< 2 明大前駅周辺地区街づくり協議会 >

- ・自分たちで、住んでいるまちのこと、街づくりや都市計画に関わる専門的な事柄について学ぼうとする姿勢に敬意を表します。他方、審査の中でも指摘がありましたが、ご自分達が考え、学んだ込み入った事々を、一般の生活者に分かりやすく還元することが今後大切になってくるでしょう。今年はぜひその方法についても学んでいただけたらと思います。
- ・北沢総合支所といっしょに調査、研究、活動、提案、を続けた協議会の皆さんの努力は素晴らしいです。住民にとって関わり方が見えない街づくり計画の「見える化」「言える化」「する化」などは、いろいろな意味でモデルケースになると思います。ただし、図表やマップのデザインにはもっと工夫が必要です。デザインの専門家は地元にはいませんか？ぜひよい協力者を見つけてください。
- ・地道な活動を続けられていて素晴らしいと思いました。「まちづくりの見える化」について、計画案の見える化のほかに、どのような人が暮らし、まちづくりに関わっているのか、個々人やネットワークの見える化が進むと、さらにいろいろな人が巻き込めるのではないかと感じました。
- ・今後変わりゆく街を見据えながら、精力的に地区街づくり計画の策定を進められているということで、計画策定後も一層地域のつながりを深め行政との協働しながら街づくりを推進していただくことを期待します。また、他地区の街づくり協議会にとっても、この活動が良い波及効果につながると良いと思います。

- ・明大前駅周辺の「安全・安心のまちづくり」のためには交通の安全と防災上の安全であることを基に安全マップ作成等の活動をしてきたことは意義深いことである。それらの活動をさらに発展させ「地区街づくり計画原案 増補版」の完成を目指し、交通問題に限らず、防災に関わる課題の解決に尽力することは高く評価できる。今後も区民への安全の啓発に限らず、行政への提言等の活動を行うことは、本活動が他の地域の街づくりの先進的な見本となることが期待できる。
- ・まちづくりファンドの最終年度に向かい、「言える化」に取り組むとのこと、大変力強く感じます。また大変専門性の高い活動を展開されていることについても敬意を表します。ただやはりかなり専門性が上昇していることから、会の活動に関わらない一般住民の方とのコミュニケーションがどのように進むのか不安に感じます。ぜひ住民に向けた情報発信にも力を入れて頂きたいと思います。
- ・単なるお題目になりがちな「安全・安心のまちづくり」を「見える化」し、さらに「言える化」として行政に提言していこうという活動姿勢は素晴らしいです。ただ、ともすれば一般住民は置き去りにされていると感じがちなのでその点に注意してください。
- ・行政ならびに地域団体との連携を意識いただいた活動に感謝します。引き続き、地域への情報発信と意見集約に努めていただけるようお願いいたします。

< 3 劇団ほぼ無職 >

- ・まちづくり活動部門最終年を迎えますが、若い人を中心とする人々の居場所を、自己表現の場として形成する活動の設計は今もなお面白いと思います。残念だったのは次年度以降の劇団をどうしてゆきたいのかが、具体的に描かれていなかったことです。折角生まれた貴重な場所ですのでぜひとも継続していただきたいと思います。今年度の定常的な活動と並行して、劇団運営の今後を考える「投資」を試みていただきたく思います。
- ・劇団員が広がり、定期的な公演もやれているのはすごいことだと思います。ファンドの助成は今年度までですが、今後の運営も視野に入れた活動ができるとよいですね。演劇ワークショップやシアターゲームは世田谷では30年以上前から区民の活動に取り入れられてきました。居場所づくりの工夫としてもぜひ活用してください。
- ・世田谷の文化の底力を感じる事業です。ともに演じるという機会を提供することが若者のリアルなニーズにもとづきながら、結果的に地域の自立力につながっている

という社会的な意義を、もっとしっかり強調してプレゼンテーションして欲しかったです。非常に意義のある活動です。どうか続けてください。

- ・演劇を通じた居場所づくりを目指され、目標は達成できているということ。一方、知り合い以外が観劇した場合の評価が低いことや、参加者の満足度アップが課題として挙げられています。活動を継続する上で、自己資金源であるチケット代に相応の価値を感じてもらうには、一般の劇団と違って何を大切にしていけるかを考えていくことが大事だと思いました。また、劇場ではない（例えば老人ホームなどの）場を舞台として地域団体と連携するような展開をさぐる事もあるかもしれません。この活動がよりまちに開かれていくことを期待します。
- ・居場所の少ない人々の駆け込み寺的存在の本活動は、現代社会で必要なものだと感じている。実際、演劇活動を通して自信を得た若者の例を私も見聞きしている。参加者がだいぶ入れ替わっているようだが、自信を得て新たな居場所を見つけられたならよいが、活動が十分機能しなかった点もあることと思う。240名の幽霊会員を舞台に引き込めるような活動の成果を期待しながら、応援したい。
- ・公演を重ねられ、ひとりひとりの生きる場づくりに繋がっているという意味では、活動に価値があると感じます。一方で、それが広く世田谷のまちづくり（ハード整備という意味ではなく、地域のコミュニティを豊かにする、人と人との繋がりをつくる、という意味でも）にどう+になっているか、という点については疑問を感じました。あるいは活動報告の際に、ひとりひとりの考え方や感じ方の変化を正確に伝えて下されば、より理解が深まったかなと思いますが、そうした意味でも真摯な報告とは感じられませんでした。活動には一定の意義があると感じる一方で、助成金を提供するには適切さにかけるという判断をさせていただきます。
- ・3年目の活動なので、単なる居場所づくりから次のステップへ踏み出したものを見せてほしいです。演劇にこだわるなら対外的公演だけではなく自分の体験を演劇化して自己認識のツールにすることもできます。
- ・演劇文化が特徴となっている下北沢の地域の発展につながっていく活動となることを期待します。

< 4 カタクリの会 >

- ・旧小坂邸という場所で、生け花を通じて季節に思いを巡らせることは、生活における環境と人との関係のあり方を考えたり再構築したりする上で大切なことです。今

年度はまちづくり活動部門の最終年度ですが、ぜひ次年度以降も継続していただきたいところです。申請書に記されていたのは昨年度とほぼ同内容になっており、同じことを続ける大変さも理解はできますが、今後の継続に向けて何をしてゆけばよいか、じっくり考える時間をとることは無駄ではないと思います。

- みなさんの活動は、無料にこだわったことで旧小坂邸運営に貢献したと思います。写真展示は、これまでのやりかたに工夫を加えて、ファンド助成卒業後の来年度以降の様々な活動とのコラボレーションや新しいネットワークづくりを目標にするべきだと思います。写真撮影への参加や協力、額装づくり、展示したもののその後の活用方法などなど、いろいろな展開ができるはずです。ぜひチャレンジしてほしいです。
- 活動は魅力的ですが、この活動を続けていくには、助成金モデルはサステイナブルでないと感じました。
- 世田谷区の地域風景資産でもある小坂邸の資源を活用した活動ということで、活動を通して小坂邸の魅力がいろいろな人に伝わる機会にもなると感じました。この活動に参加した方が、区内の別の資源にも訪れてみたくなるような入口になったら良いと思いました。
- 旧小坂邸で生け花やその写真などの展示を拝見すると、本活動の意義深さがよく理解できる。また、その活動は世田谷の文化遺産を上手く活用し、その遺産に輝きを与えている点でも評価できる。「柏葉会」との連携で活動内容を深めながら、多くの区民に「生け花」や「茶会」を楽しんでもらうことは区民交流の場になる点で大切なことである。特に、忘れがちな五節句に対応した活動は大人に限らず、子ども達の情操教育にも役立っている。
- 取り組みそのものには価値があると感じるものの、この取り組みがどう世田谷という地域にプラスに働くのかということについて、リアリティを持って感じる事が難しいと思いました。この活動が、世田谷にとってどのような+をもたらすのか、ぜひ説得力を持ったプレゼンテーションをお願いしたいと感じます。
- 有形文化財である旧小坂邸でいろいろ工夫を重ねて、地域の中で生きている資産となさっている活動は素晴らしいですが、ファンドを卒業した来年以降がどうなるか気にかかります。

- ・小坂邸の利活用に協力いただきありがとうございます。来年度以降も活動を継続していくための仕組みづくりを利活用WSにおける意見交換なども行って考えてください。

< 5 特定非営利活動法人 日本防災士会世田谷支部 >

- ・商店街が被災時（あるいは復興時）に重要な役割を担うことになるという着眼点から、商店街関係者を巻き込んだ形で、防災計画や復興計画を独自に策定している点は素晴らしく、是非拝見したいところです。今後は一般の方々にこの取り組みを知っていただくことが大切になって来ると思いますが、ドジョウすくいイベント開催だけではなく、地域の人々が集まる様々な機会に出向き、伝えてゆくのがよろしいのではないのでしょうか。
- ・計画の策定だけでなく、啓発活動にも取り組む意欲に期待します。防災の啓発というと模擬訓練タイプのものが多いのですがナマズならぬ「どじょう」はユニークですね。最近では、シュミレーションゲームを行うワークショップなども増えています。ぜひ、新しい手法も取り入れてみてください。また、区内での活動成果発表の場もつくって参加してほしいです。
- ・防災をテーマにした活動は、少数の熱心な参加者と大部分のそうでない人に分かれがちです。どうしたら後者を、啓蒙的でなく巻き込めるかが、活動の広がりにとって死活問題です。その点の工夫を、期待したいと思います。
- ・南三陸さんさん商店街との意見交換で得られる成果は、烏山のみならず他地域にも参考になることが多いと思われます。ノウハウの共有化に期待したいと思います。
- ・烏山駅前通り商店街振興組合との連携で烏山駅前の防災計画を作成し、その計画に沿って被災時の提供可能物資をまとめ、組合員の安否確認をしてきことは意義がある活動である。また、今年度は昨年度以上に被災地との交流を図ろうとしていることも評価できる。さらに、防災について話し合いをするための人集めとして「どじょうつかみ捕り大会」を実施することは、背伸びしないユニークな活動として、その成果の報告が待たれる。多様な活動内容から、今後の発展が期待でき、楽しみである。
- ・烏山地域にこだわった活動を展開されていて、地道に活動成果が上がっていると感じます。一方で、南三陸町に行く理由やイベントをどう行っていかかという点ではもうひとつ具体的な理由や根拠を感じられませんでした。会の中では論理があるのだと思いますので、もう少し言葉で解説頂き、説得力を持って教えて頂きたかったです。

- ・私は重度障害者で災害時要支援者なので地域の防災訓練にも積極的に参加するのですが、地域住民の防災に対する意識がいまひとつで歯がゆさを感じています。貴団体の真摯な活動が他地域にも波及することを強く望みます。
- ・昨年度策定した防災計画に基づく地域の地道な取り組みを継続していただきたいと思います。今後も商店街等への継続的な意識啓発に努めていただくようお願いします。

< 6 世田谷代田ものこと祭り実行委員会 >

- ・まちづくり活動部門3年目の活動で、申請額が比較的高額にもかかわらず、過半の委員から満額助成の評価を得ましたが、少なくともここ10年間、同様の評価を受けたグループはないと思われます。以前から住む人々の理解と協力を得ながら、既存の場所を上手く使いつつ、移り住んできた人たちがまちの再活性化を進めてゆく。今後のまちづくりのモデルになり得る素晴らしい活動だと思いました。メンバーの皆さんにとっては「未だ道半ば」だと思われますが、今年でファンド助成は一区切りになると思われますので、ひとまずの集大成としての活動成果を楽しみにしています。
- ・小田急線トンネル上部敷地の工事や旧道沿いの店舗改修もすすみ、世田谷代田駅前の様子もどんどん変化してきました。ものこと祭りの力を感じます。小田急線がまだ開通していなかった頃、環状7号線がまちを分断していなかった頃の、道と神社と暮らしと商いの原風景のようなものが立ち上ってくるとよいですね。小田急電鉄とも連携して、世田谷区の新しいまちおこしのスタイルとして自信をもって情報発信し、次へつなげてください。小学校、中学校へのアプローチもすすめていきましょう。
- ・企画の内容と構造がしっかりしてて、さらに徐々に地域のネットワークを増やしながら組織体として成長しているという点など、非常に感銘を受けました。世田谷の大きな成功事例だと思いますので、今後はぜひとも、その知見やノウハウを他の地域へ伝えていってください。
- ・ものづくりと地域を結び、着実に成果を挙げている活動は、他地域においても刺激を与え、活性化の起爆剤になることが期待できます。インターネットや紙媒体でも「ものこと祭り」の情報を目にする機会が多く認知度もあり、また情報発信力もすばらしいと思いました。力まず長続きしてほしいイベントだと思います。

- ・世田谷代田駅前を活性化するための「世田谷もの・こと祭り」は年々、活動内容が充実し、田舎に住む人々との交流や職人やデザイナーなどの若者の「つくり手」と代田住民の「つかい手」の交流などを発展させてきたことは大変有意義である。また、代田八幡神社や商店の方々と連携し、地域の多くの賛同や支援を受けながら祭りを盛んにしてきたことや参加者の数が年々増えてきていることなどは、地域の活性化が成功した例として他の地区の見本となり、高く評価できる。
- ・3年目を迎え、70を超える出展があったとのこと。活動の広がりを感じます。ものこと祭り、という単語が地域に根付いている様子を伺い、本当に素晴らしいと感じました。地域の担い手が増えているという意味で、継続的な活動に繋がっていると感じます。代田のまちの風景がこれから10年かけて変わっていき、日常的に人とひととの繋がりを感じられる街になるように、またわくわくがたくさん生まれる場になるように、ファンドの最終年を活用しきって頂きたいと考えます。
- ・ものこと祭りをきっかけとしたこの3年間の世田谷代田の変化は目をみはるものがあり、都会のまちおこしの手法として代田モデルと言ってよいと思えます。今後小田急の新駅などの完成により新しい景観も生まれ、さらなる街の変化が必然となりますが、代田八幡神社が象徴する伝統をふまえた、手作りのまちづくりという雰囲気を守っていいってください。
- ・地域に活動が根付いてきたことが感じられました。1Dayのイベントの取り組みを日々のまちづくりにつなげる道筋を描いていってください。世田谷代田の10年後の姿を楽しみにしています。